

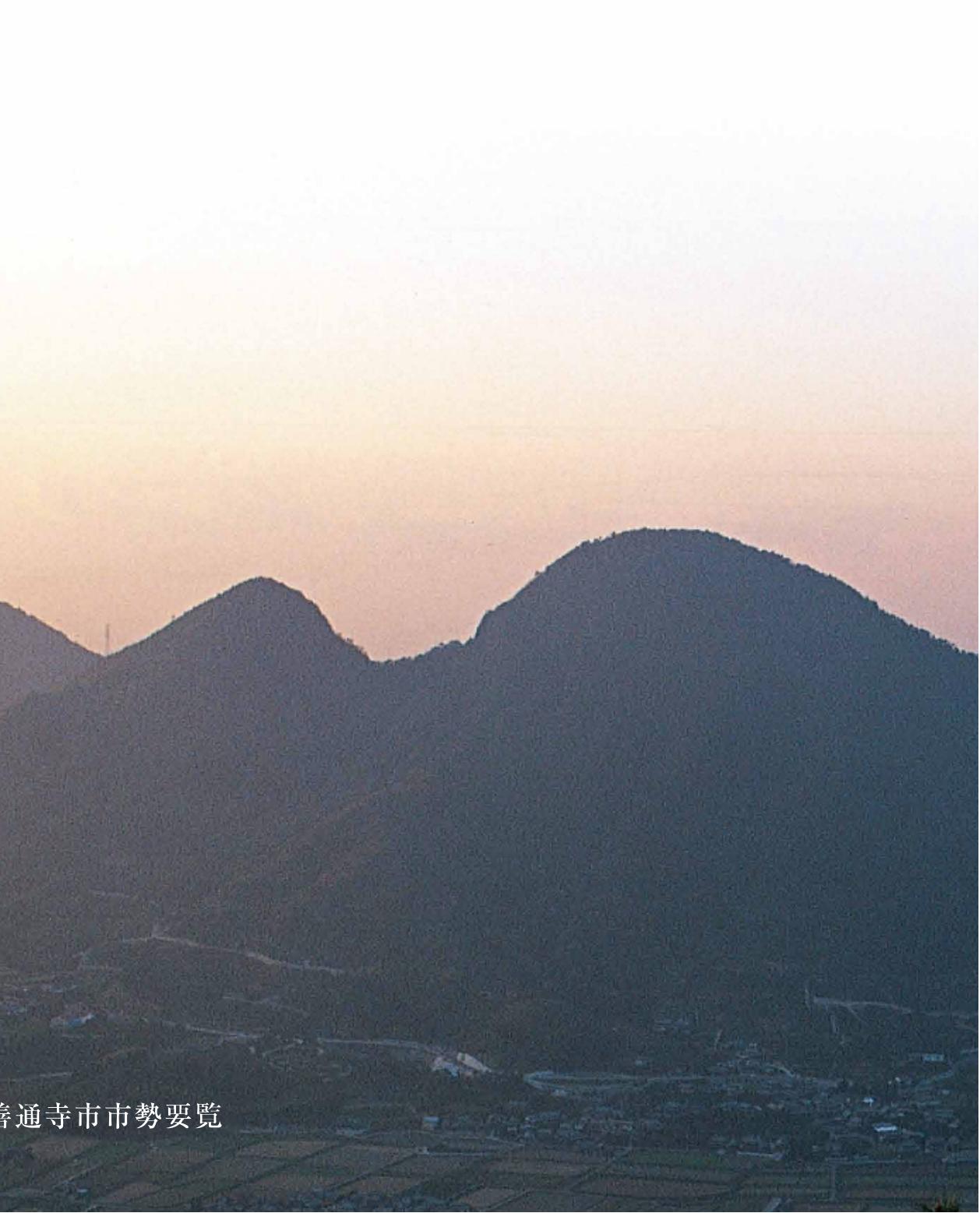


善通寺市

いにしえから明日へ、人をつなぎ世代をつなぐ



善通寺市市勢要覧





Z E N T S U J I

香川県善通寺市文京町二丁目1番1号
TEL(0877) 62-2121 FAX(0877) 63-6351
<http://www.city.zentsuji.kagawa.jp>
Email:info@city.zentsuji.kagawa.jp





善通寺市は、香川県の北西部に位置し、南には大麻山、西には五岳山がそびえ、東と北には讃岐平野が広がっています。気候は、瀬戸内海気候に属しており、温暖寡雨で、冬期は比較的暖かく、平地での積雪はめったに見られません。

地域の歴史は古く、有岡古墳群をはじめとする大小四百基もの古墳や数々の貴重な遺跡が残されているように、古代から文化の中心となっていました。中世には、弘法大師・空海や智証大師・円珍の生誕の地として信仰のまちとなり、平安時代初頭に唐から帰朝した弘法大師が建立した善通寺を中心に栄えました。明治時代に入ると、水資源が豊富なことなどから陸軍第十一師団が置かれ軍隊のまちになると市街地の整備が進みました。戦後は、師団施設跡に公共機関などが立地され、教育・文化都市として新たに出発しました。そのため、現在も市街地中心部には、陸上自衛隊善通寺駐屯地、独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとの医療センター、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構四国研究センター、四国学院大学などが設置され、独特な市街地を構成しています。



善と教育、人を育てるまちづくり	1
善通寺市に関わりの深い偉人の紹介	2
福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	4
活力の創出、地域が生きるまちづくり	6
見どころいっぱい善通寺ガイドマップ	8
四国霊場88ヶ所のうち5つの札所が点在	10
環境重視、美しくさわやかなまちづくり	12
安心・安全、暮らしやすいまちづくり	14
市民主体のまちづくりの推進	16
善通寺市の歩み、年間行事・イベント、	17
国宝、無形民俗文化財、市の概要	

目次

躾と教育、人を育てるまちづくり

しつけ

学校教育の充実



善通寺市では、最重要施策の一つとして「教育環境の充実」に取り組んでいます。

まず、人格形成の基礎を培う幼稚園では、茶道体験や音楽指導、文字のお稽古指導を通じた情操教育に力を入れています。さらに、小学校では、確かな学力の向上と豊かな心の育成に重点を置き、わかる授業の実践、豊かな体験活動の実施に加え、原則毎月第3土曜日に、4年生以上の児童を対象に土曜授業を実施しています。また、平成26年には主に総合的な学習の時間を活用し、「ふるさとの偉人・空海」という副読本を活用した学習を開始し、地元の偉人空海の業績や生涯、思いや生き方などを詳しく学ぶことで、郷土を愛する心を育んでいます。副読本の挿図は県立善通寺第二高等学校デザイン科の生徒の卒業作品で、空海の生涯を描いた「弘法大師空海 行状絵伝」を使用し、分かりやすく紹介しています。また、「無道人之短(ひとのたんをいふことながれ)」「受施慎勿忘(ほどこしをうけてはつつしんでわすることながれ)」など、空海の『座右の銘』も掲載しています。



弘法大師空海 行状絵伝



善通寺市に関わりの深い偉人の紹介

弘法大師・空海



絹本着色弘法大師像(善通寺蔵)



稚児大師像(善通寺蔵)



空海誕生図

今も人々に親しまれ、数多くの伝説を残したお大師さま
774(宝亀5)年6月15日、空海は讃岐国多度郡屏風ヶ浦、
現在の善通寺市で生まれました。幼名は真魚といい、父は佐伯
直田公善通卿、母は玉依御前。

小さいころから天才の誉高く、7歳の時に仏道修行に口覺め
て以来、四国各地で修業を行い、20歳の時に和泉国槇尾山寺で
出家しました。

804(延暦23)年、遣唐使の一員として中国に渡った空海
は、長安で青龍寺の惠果和尚から真言密教を直伝され、八代
日の継承者となりました。

日本に帰った空海は、真言宗の開祖となり、四国88ヶ所や高
野山を開創したほか、日本最初の私立総合学校である綜芸種
智院の開設や、故郷の讃岐では、総本山善通寺の建立や満濃池
の修築工事など、幅広い分野で活躍しました。

835(承和2)年3月21日、高野山で入定、921(延喜21)
年には醍醐天皇より弘法大師の謚号が贈られました。



智証大師・円珍

天台宗寺門派の開祖

日本には大師号を贈られた僧が25人います。うち5人が讃岐の僧で、そのうち4人が空海と同じ佐伯氏の出身です。このうち814(弘仁5)年、那珂郡金倉郷(現在の金蔵寺町)で誕生したのが智証大師・円珍です。空海の甥の子にあたり、15歳の時に比叡山に入山し、12年間山にこもつて修行、法名を円珍とし、天台宗寺門派の開祖となりました。

円珍は851(仁寿元)年、唐に渡り、台教・密教などを学び、帰国した翌年には園城寺に唐院を建立。その後、延暦寺の5代座主に任じられ、入定後には醍醐天皇より智証大師の諡号が贈されました。



智証大師

乃木希典

陸軍第十一師団の初代師団長として着任

長州藩士として江戸に生まれ、吉田松陰の師として知られる玉木文之進に教育を受けました。その後ドイツに留学し、軍制・戦術を研究。戊辰戦争、西南戦争に参加しましたほか、日清戦争では旅団長として従軍し、台湾総督を経て、明治31年に善通寺の陸軍第十一師団の初代師団長として着任し、2年8ヶ月の赴任期間中は金倉寺を宿舎としました。

ある年の大晦日、静子夫人が面会に来ましたが、事前に連絡がなかったため面会せず、途方に暮れた夫人がたたずんだ場所とされる「妻返しの松」が今も金倉寺境内に残るほか、寺には将軍の遺品が多く残されています。

□露戦争では第3軍

司令官として旅順を攻略、64歳のときに明治天皇の御大葬の当日に妻と共に殉死しました。



乃木希典(師団長時代)

月照・信海

幕末の志士と親交、非業の死を遂げる

月照は1813(文化10)年、信海は1821(文政4)年に、吉原村(現在の吉原町)でそれぞれ誕生したとされています。ともに地元の牛額寺で叔父の藏海に弟子入りし、その後京都の清水寺成就院の住職となりました。兄の月照は、幕末の尊王攘夷の思想のもと、西郷隆盛などと親交を得て、奔走しましたが、安政の大獄による幕吏追及のため薩摩に逃れ、隆盛とともに錦江湾へ身を投げました。隆盛は蘇生しましたが、月照は帰らぬ人となりました。46歳。

兄の月照とともに活躍した信海も捕縛され、江戸で獄中死を遂げました。39歳。



月照上人



信海上人

河田迪斎

日本の開国に大きく貢献

河田迪斎は1805(文化2)年に金蔵寺村(現在の金蔵寺町)で生まれました。天性の資質に恵まれ、朱子学者の近藤篤山に師事し、江戸幕府直轄の教学機関であった呂平坂学問所で学び、その後儒学者佐藤一斎の養子となりました。後に幕府儒官の林家の塾頭につき、ペリー再来航の際には林復斎にしたがつて条約文を起草しました。また、同年に結ばれた日米和親条約の交渉時には翻訳や記録を担当し、交渉の中で「鎖国は時代の流れに合わない」と感じ、開国論を進言したと言われています。信海と同じ年に死去。54歳。



河田迪斎
(香川県立図書館蔵)

*幕末の動乱の中、「開国」と「攘夷」、それぞれの立場で大きな活躍のあった偉人たちちは、この町で生まれました。

福祉先進、だれにもやさしいまちづくり

子育て支援の充実



善通寺市では、児童福祉と母子保健を統合した子ども課を設置し、独自の先進的な施策に取り組んでいます。

病児・病後児保育、休日保育、一時保育などの特別保育の実施をはじめ、絵本の配布や5歳児健康診査などの子育て支援サービスを取り組む一方で、幼稚園授業料の無料化や保育所保育料の減額、中学校卒業までの医療費無料化、インフルエンザ予防接種費用の一部助成といった経済的支援の充実も図っています。また、四国こどもとおとなの医療センターと連携することで、福祉と保健両面から子育て家庭を支援できる体制を整えています。

このように積極的な子育て支援施策に取り組んできた結果、地方都市において子どもの数が減少傾向であるなか、善通寺市では合計特殊出生率は増加しており、0歳から14歳の年少人口の増減はほぼ横ばいとなっています。

平成26年度には、「もっと、ずっと 子どもを産み育てたいまち ゼンつうじ」を基本理念とした「善通寺市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもや子育て家庭に寄りそった支援をさらに推進します。

高齢者福祉の充実



香川県内において、戦後初めて老人クラブが発足したのは善通寺市だといわれています。市内では地域ぐるみで健康づくりに励む高齢者をよく目にします。

そのため、善通寺市は香川県内で最も介護保険料が安く、これは介護認定を必要としない方つまり元気な高齢者が県内で最も多いということができます。

一方、善通寺市では今後さらなる高齢化の進行を見据え、高齢者施策の充実に取り組んでおり、そのひとつに、介護予防サポーターの積極運用が挙げられます。制度そのものは全国的に取り入れられていますが、130人の介護予防サポーターのうち、60歳以上の方が85%以上で、高齢者の方がパワーリハビリテーションや脳機能アップなどの教室のスタッフとして関わっている点が善通寺市の介護予防サポーター制度の特徴です。現場のスタッフとして運営に関わることで、自身の介護予防にもつながり、また、保健師や看護師、介護福祉士などの有資格者も多いことから、だれでも安心して参加することができます。

さらに、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、医療などさまざまな面から総合的に支援するための施設「地域包括支援センター」を直営にすることにより、主任ケアマネジャーや保健師、社会福祉士などの専門職が互いに連携をとりやすく、なおかつスマートに動けるという利点を活かし、多様化するニーズに対応しています。

今後、介護保険制度の改正などにより、より充実した地域包括ケアシステムの構築が求められることになりますが、人材活用、人材育成により機能の拡充に努めます。

活力の創出、 地域が活きるまちづくり

農林業・商工業・観光の振興



「株式会社まんべがん」は、中心市街地の活性化のために、平成11年9月に善通寺市、善通寺商工会議所、善通寺市商店連合会が出資し、設立した第三セクターのまちづくり会社です。平成12年には市からTMO（まちづくり機関）としての認定を受け、中心市街地活性化基本計画に基づいたまちづくりに取り組んできました。その事業の一つ「みんなのたまり場づくり」において、誰もが気軽に立ち寄れる空間として誕生したのが「おしゃべり広場」です。

「おしゃべり広場」では、地場産品を原料として開発された商品や地元の野菜や果物、手作り品などを販売していますが、今、注目を集めているのが讃岐もち麦「ダイシモチ」です。

空海が唐から麦の種を持ち帰ったという伝説が残る瀬戸内海沿岸地域では、古くから大麦の一種である「もち麦」の栽培が盛んでいますが、「ダイシモチ」は四国農業試験場（現在の農研機構）において、平成9年に開発された品種で、モチモチとした食感が特徴です。しかも、水溶性食物纖維「 β -グルカン」が、玄米の約9倍含まれていることから、コレステロール対策や生活習慣病の予防効果も期待できます。また、弘法大師の「大師」にちなんで名付けられたこともあり、今後、善通寺市の特産品として売り出すために、「ダイシモチ」を使用した商品開発を進めています。饅頭、大福、パン、うどん、そば、コロッケといった食品から、甘酒や焼酎といった醸造・発酵食品にまで品目が広がるにつれ、平成15年には0.1haだった作付面積も今では20haにまで増え、年間約80トンを収穫しています。

香川県は野菜摂取量が全国的にも低く、糖尿病の治療を受けている人の割合が高いといわれています。市内の学校給食や独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとの医



むぎゅーちゃん

讃岐もち麦
ダイシモチ
公式キャラクター

善通寺市観光大使

一辺約19cmの四角スイカは善通寺市だけの特産品。装飾品やディスプレイ用として国内はもとより世界からも需要があります。



善通寺市の野菜生産上位5品目
(JA善通寺調べ・平成25年度)

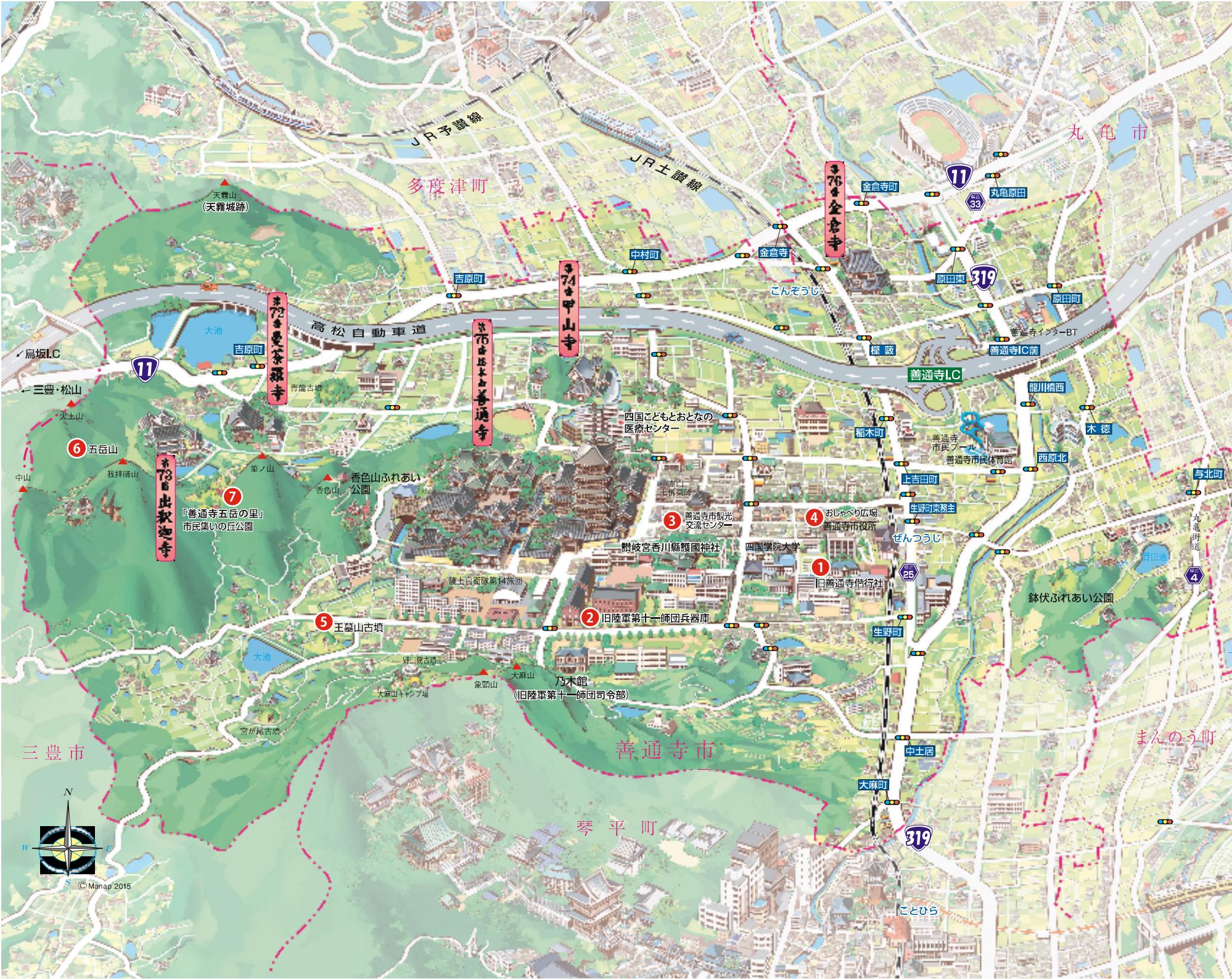
1	レタス類	1,220t
2	ねぎ	733t
3	玉ねぎ	362t
4	キャベツ	208t
5	ニンニク	83t



療センターの食堂でも「ダイシモチ」が使用されるようになり、今後は、さらなる普及促進に努めることで、健康管理に役立てていくことはもとより、市内の農業と商工業に活気をもたらし、さらには地域振興につないでいきたいと考えています。

また、市の農産物上位5品目とダイシモチ、キウイフルーツを具材とした「七福神鍋」を開発するなど、地産地消に努めています。

見どころいっぱい善通寺ガイドマップ



⑦ 「善通寺五岳の里」
市民集いの丘公園

平成22年4月、花のまちづくりの拠点施設としてオープン。五岳の山々を背景に、緩やかな丘陵地は四季折々の花や木によつて彩られています。各種行事や教室も催され、特に5月の「フラワー＆ガーデンフェスタ」や10月の「農商工夢フエスター」「灯あかり」は市を代表するイベントとなつています。



⑤ 王墓山古墳

6世紀半ばにつくられた全長46mの前方後円墳で、貴重な副葬品が多数出土しました。空海を輩出した佐伯氏の墓と考えられています。（国史跡）



⑥ 五岳山

屏風のようにならぶ香色山・筆ノ山・我拝師山・中山・火上山を指します。毎年12月にはこの5つの山を縦走する「空海ウォーク」が開催されます。



③ 善通寺市観光交流センター

観光・交流の拠点として有効活用するために、昭和の料亭建築の趣の残る「旧すし傳」の建物を保存整備して、平成23年に開館。善通寺市指定文化財となっています。



④ おしゃべり広場

公園とイベント広場が一体となつた空間として平成15年に誕生。観光案内所としての性格もあります。ため、観光・道案内のほか、レンタサイクルや地元産品の販売も行つています。



② 旧陸軍第十一師団兵器庫

明治後半から大正にかけて建てられたもので、現存するのは3棟。師団の兵器庫として第二次世界大戦の終戦まで使用され、その後陸上自衛隊が引き継ぎました。通りには、銀杏の街路樹が続き、建ち並ぶ赤レンガの倉庫が善通寺の町並みに明治の雰囲気をそえています。平成21年には、彫刻家イサム・ノグチの母の生涯を描いた映画「レオニー」のロケ地にもなりました。



① 旧善通寺偕行社

「偕行社」とは、陸軍将校准士官によって設立された親睦・互助・学術研究組織の名称ですが、その集会所として建てられた建物も偕行社と呼ばれています。明治36年に竣工した旧善通寺偕行社は、平成13年には国の重要文化財となり、平成16年から平成19年まで保存修理工事を実施し、創建当時の状態に復元しました。重要な文化財でありながら、大広間や会議室は各種団体の会合、コンサート、展示会などに利用が可能であるほか、偕行社本来の用途である社交場として使用する際の利便性を高めるために附属棟も建設しました。



四国靈場88ヶ所のうち5つの札所が点在

善通寺

空海が誕生した真言宗善通寺派の総本山

四国88ヶ所霊場第75番札所善通寺は、屏風ヶ浦五岳山
善通寺誕生院といい、真言宗善通寺派の総本山です。境内
は、東院(伽藍)と西院(誕生院)に分かれており、五重塔や
金堂がある東院が空海自ら建立した本来の善通寺です。

西院は佐伯家の館があつた場所で、ここで774(宝龟5)
年に空海が誕生したと伝わっています。創建は807(大
同2)年、唐から帰朝した空海が長安の青龍寺を手本に建
立したとされ、高野山の金剛峰寺や京都の東寺よりも早
くに建てられた真言宗最初の根本道場です。1558

(永禄元)年の戦火で堂塔伽藍はすべて焼け落ちました
が、高松・丸亀両藩の援助により次第に復興し、現在の姿
に整えられました。



出釈迦寺

釈迦如来が現れたという伝説にちなむ寺

我拝師山の山裾にあるのが、四国靈場88ヶ所第73番札所の出釈迦寺です。我拝師山求聞持院と号し、金剛峯寺の末寺になります。本尊は空海の作になる釈迦如来で、虚空藏菩薩も安置されています。

我拝師山は昔、倭斯濃山といわれていました。寺のいい伝えによれば、空海が真魚と呼ばれていた7歳の時にこの山で修業を積み、断崖絶壁から身を投げました。すると釈迦如来が天女を連れて現われ、幼い大師は天女に抱きとめられて崖の上に返されたそうです。

空海は釈迦如来が現れた山を「我拝師山」と名付け、その山に出釈迦寺を建立し、釈迦如来の尊像を刻んで本尊としたといわれています。



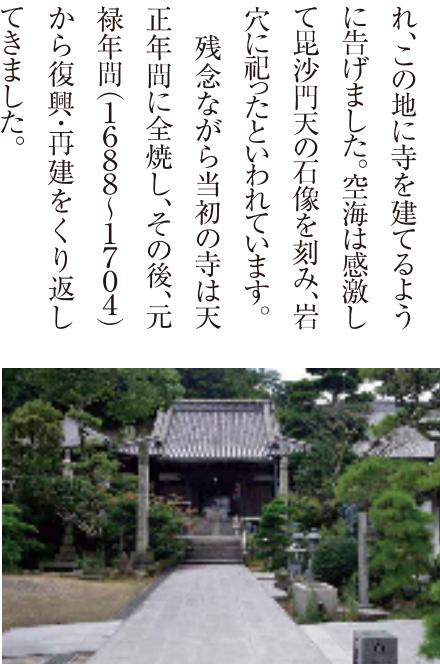
甲山寺

満濃池の修築をきっかけに建てられた寺

医王山多宝院甲山寺は四国靈場88ヶ所第74番札所で、善通寺の末寺にあたります。本尊に薬師如来、寺の前の洞穴に毘沙門天を祀つてあります。

西讃府志によると、空海が満濃池を修築した功績で朝廷から賜った報奨金でこの寺を建て、自ら本尊を作つて祀りました。寺伝によれば、満濃池修築以前に空海が曼荼羅寺と善通寺の間に寺を建てようとしたところを現わるものとの岩穴から老人が現われ、この地に寺を建てるよう告げました。空海は感激して毘沙門天の石像を刻み、岩穴に祀つたといわれています。

残念ながら当初の寺は天正年間に全焼し、その後、元禄年間(1688~1704)から復興・再建をくり返しました。



金倉寺

乃木將軍にもゆかりのある智証大師の寺

鶴足山宝幢院金倉寺は、四国靈場88ヶ所第76番札所です。天台宗寺門派の園城寺の末寺で、本尊は薬師如来、脇に日光・月光両菩薩を安置しています。鎌倉時代の作で国の重要文化財の「絹本着色智証大師像」などを所蔵しています。

古くは景行天皇の血筋を引く和氣宅成が、父・道磨が774(宝亀5)年に建てた仏殿をゆずり受け、道善寺と名付けたのが始まりといわれています。その宅成の子として814(弘仁5)年に誕生したのが、智証大師円珍です。空海の甥の子である円珍は、天台宗比叡山延暦寺の5代座主となりました。その円珍が唐から帰り、道善寺を誕生の地・金倉郷に移転し、928(延長6)年に金倉寺と名前を改めたと伝えられています。



弘法大師の母の玉依御前菩提寺

曼茶羅寺

四国靈場88ヶ所第72番札所が曼茶羅寺です。曼茶羅寺は我拝師山延命院と号し、寺伝によれば創建は飛鳥時代の596(推古4)年、最初は世坂寺とも呼ばれています。空海がこの寺を訪れたのは唐から帰朝した翌年のこと。亡き母王依御前の冥福を祈るためだつたともいわれています。唐の青龍寺にならつて伽藍を3年がかりで建立。本尊に大日如来を祀り、唐から持ち帰った金剛界と胎藏界の曼荼羅を安置し、寺名を「曼荼羅寺」に改めました。

室町時代末期に兵火で荒廃。文禄年間(1592~96)年に丸亀藩主生駒氏の家老が修復、1692(貞享9)年に本堂が再建されました。現在の建物の大部分は、1886(明治19)年の改築によるものです。



金倉寺

環境重視、 美しくさわやかなまちづくり

環境施策の総合的推進



未来クリバーカー21

戦後の高度経済成長に伴い、大きな社会問題としてクローズアップされた中にごみ問題があります。各地で、ごみ戦争やごみ非常事態宣言がなされるなど、自治体での清掃事業は非常に困難性をおびてきました。一般家庭から排出されるごみの量は年々増大し、しかも質の多様化により処理・処分費が大幅に増加して、自治体の財政を圧迫するようになりました。特に最終処分場としての用地確保は一番難しい問題であり、清掃行政の重大な課題でした。

そこで善通寺市では、昭和51年にごみの資源化による減量化計画を決定し、翌年から「捨てるごみでも生かせば資源」を合言葉に市民総参加による資源リサイクル運動を開始しました。各家庭から出るごみは各家庭で分別して集積場へ持つて行き、それを市が収集するといったシステムは「善通寺方式」として、国内外を問わず高く評価され、多くの视察が訪れるようになりました。また、市民ボランティアである善通寺市環境推進連合会が中心となり、集積場の管理を行っていることも特徴のひとつです。

9種類23品目に分別された資源ごみは、リサイクル拠点の「未来クリバーカー21」で処理し、売却され、最終的には市民の皆さまへ交付金として還元されるという仕組みとなっています。

平成26年度には、燃えるごみ4236トン、資源ごみ1870トン、燃えないごみ1346トンの合計7452トンものごみが一年間で排出されました。処理経費の削減や、CO₂排出量の削減、焼却炉の老朽化防止、最終処分埋立地の延命、また収集運搬処理経費の軽減のために、善通寺市では、資源リサイクル運動で培った住民意識をもとに、さらなるごみの減量に向け、市民のみとともに取り組みます。

太陽光発電所は400世帯分 「リース方式」を選択

資源リサイクル運動など全国に先駆けた取組により、環境のまちとして知られた善通寺市が、現在積極的に推進しているのが太陽光発電事業です。

東日本大震災以降、資源の枯渇のおそれが多く、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。国においても、経済産業省が平成24年に再生可能エネルギー固定価格買取制度を開始するなど、再生可能エネルギーの普及促進を積極的に後押ししています。このような状況のもと、善通寺市では全国的に年間日照時間が長いとされる風土に着目し、市が実施主体となり太陽光発電に取り組むべく検討を重ねました。特に発電施設の導入運用経費についてあらゆる可能性を模索した結果、四国では初となる包賃の施設リース契約が最良と判断し、平成26年7月には与北町で「ぜんつうじ太陽光発電所」が運用を開始しました。年間推定発電量は約160万kWhで、売電収入は約6千万円、必要経費を差し引いた収益は約1千万円を見込んでいます。平成27年夏には大麻町の旧善通寺自動車教習所跡地に「ぜんつうじ大麻太陽光発電所」が完成予定となつており、これら2ヶ所の発電所から得られる売電収益は、地域の防犯灯を消費電力の少ないLED照明に交換するなど、すべて市民の皆さまに還元します。

善通寺市は今後、このクリーンエネルギーを上手に活用し、環境先進都市としてさらなる発展を目指します。



安心・安全、暮らしがやすいまちづくり

防災体制の充実



吉原地区 防災訓練

防災管理室の設置

平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、善通寺市では市民の安心安全の確保を最優先課題と位置づけ、自然災害対策に力を入れて取り組んでいます。



平成24年度に防災管理室を新設、平成25年4月には四国の中でも数少ない「総合危機管理士」を採用し、防災講演会を開催したり、各地区的自主防災会と共同で防災訓練を実施したりしています。

平成25年度には、従来の洪水と土砂災害を対象とするハザードマップを更新し、土砂災害警戒区域については、地区別のマップを作成しました。地図面と啓発面の2面から構成しており、地図面には災害時の危険箇所や避難所などを、啓発面には災害に関して知っておくと便利な情報を記載しています。

平成26年度には、災害時の避難情報など

の緊急情報を持ち早く伝達するために、市内 57ヶ所に防災行政無線を設置し、平成27年 4月に運用を開始します。

公共施設の整備

今後30年以内に南海トラフを震源とした巨大地震が発生する可能性は70%程度とされ、香川県内でも震度6強の揺れが想定されるなか、善通寺市では、まず将来ある子どもたちが安心して学校生活を送れるように市内のすべての小中学校で耐震診断を実施し、各小学校では診断結果に基づいた耐震補強を行いました。しかし、中学校の校舎は建築年月が古く老朽化が進み、コンクリートの強度が不足していたために、東西両中学校において改築工事を実施しました。

また、平成22年度に実施した市役所庁舎の耐震診断では、総合評価において緊急性の最も高い「緊急に改修等の措置を講ずる必要あり」との判定がなされました。そこで、耐震化検討委員会や市議会の特別委員会において、現市役所の耐用年数や費用対効果などを総合的に判断した結果、建て替えすべきとの結論に達したことから、平成27年度からは新庁舎建設に向けての準備を開始することになります。

平成26年3月には吉原公民館、平成27年3月には吉原保育所が完成したほか、同年9月には消防庁舎が完成予定となつており、市内の公共施設は着々と整備が進んでいます。今後は、市民会館や学校給食センターなどの整備について検討を進めていくことになります。



善通寺市庁舎



シェイクアウトに伴う避難誘導訓練



防災講演会(女性消防団による寸劇)



竜川地区 安全安心サミット

市民主体のまちづくりの推進

参画と協働、地方分権時代のまちづくり



シカシカ踊り(竜川地区)



前池のオニバス(東部地区)



赤門八日市(中央地区)



サツマイモ栽培体験(与北地区)

「地域提案型事業」の取組が進む

資源リサイクル運動に見られるように、善通寺市には「自分たちでできることは自分たちでやる」という市民意識が高く、まちの大きな財産となっています。いっまでもなく、自治会をはじめとする各種地域団体は、地域の抱える問題に対し解決に向けて自主的に取り組む、安心安全なまちづくりの推進に欠かすことのできない地域自治の基本組織です。

しかし、近年急激な少子高齢化の進行や生活様式・価値観の多様化によって自治会加入率が低下傾向にあるなど、地域のつながりが年々希薄化しています。そこで善通寺市では、平成23年度より、地域間の相互交流のきっかけづくりとして、また、地域の活性化と特色あるまちづくりを推進するために「地域提案型事業」を行っています。

これは、市内8地区の団体が企画・提案・実施する事業の必要経費について、一地域団体につき100万円を上限として助成するものです。防災・防犯活動や、市街地活性化事業、世代間交流行事、環境整備活動など、年間約30事業の各地区の特色を活かした提案がなされていて、地域の課題解決にも役立てていただいています。

地域提案型事業によって、新たに始まった行事もあり、企画段階から当日の運営まで地域の人々が検討を重ね話し合うことにより、地域間の絆や自分たちのまちに対する関心が深まるところから、地域力の強化を図ることができます。

中央地区	善通寺六地蔵地区 地域活性化推進事業
東部地区	前池オニバス保存 環境整備事業
西部地区	西部地区市民 ふれあいハイキング大会
南部地区	南部地区防犯パトロール 実施事業
竜川地区	シカシカ踊り後継者 育成事業
与北地区	サツマイモ栽培体験事業
筆岡地区	姉妹都市とのコミュニティ 交流推進事業
吉原地区	ふれあい野菜作り事業

(平成26年度 善通寺市地域提案型事業 一例)

善通寺市の歩み

年間行事・イベント

昭和29年3月	仲多度郡善通寺町・与北村・吉原村・篠岡村、竜川村が合併し、善通寺市誕生。
昭和29年10月	市章を制定。
昭和30年3月	竜川地区の原田田三分の一、原田田下町及び金蔵寺田の一部が丸山市に編入され、善通寺市から離脱。
昭和31年6月	市消防本部設立。
昭和33年3月	仲多度郡象潟村大字下櫛梨の一部を編入。
昭和39年9月	姉妹都市提携。エルドラード市(アメリカ・カリフォルニア州)と
昭和40年4月	市消防署設立。
昭和43年10月	市庁舎落成。
昭和48年11月	市の花「さくら」市の木「くすのき」選定。消防署落成。
昭和53年4月	資管サイクル開始。
昭和53年10月	市民会館落成。
昭和60年2月	平石市(長崎県)と姉妹都市提携。
昭和60年7月	竣工式典開催。
平成2年7月	高野町(和歌山県)と歴史友好都市提携。
平成4年4月	市民体育館落成。
平成5年7月	市民プール落成。
平成12年4月	未来ノルパーク落成。
平成15年4月	おしゃべり広場オープン。
平成15年11月	鉢伏れあい公園オープン。
平成22年4月	「善通寺五郎の里」市民集いの丘公園オープン。
平成23年4月	鶴丸交流センター落成。



完成当時の市庁舎

● 1月1日	総本山善通寺初詣[総本山善通寺]
● 1月1日～7日	正御影供修行[善通寺春市][総本山善通寺]
● 4月第3土曜日	善通寺大会場[総本山善通寺]
● 4月第3土曜日～5月第1日	春のお彼岸の週間[総本山善通寺]
● 4月第3土曜日～5月第1日	4月下旬～5月上旬[総本山善通寺]
● 5月第2土曜日	正御影供修行[善通寺春市][総本山善通寺]
● 5月第2土曜日	柏木市総本山善通寺
● 5月5日	善通寺フロワードガーデンフェスタ[市民集いの丘公園]
● 5月14～15日	弘法大師御誕生会[総本山善通寺]
● 7月下旬～8月上旬	金剛寺春市[金剛寺]
● 8月11～15日	善通寺まつり[善通寺][田]
● 9月上旬	万灯みたま祭り[善通寺][田]
● 10月下旬	弘法大師御誕生会[総本山善通寺]
● 10月下旬～11月上旬	正月見オーラク&灯あかり[善通寺市役所～市民集いの丘公園]
● 10月下旬～11月上旬	中秋の名月[満月に近い土曜日の夜]
● 10月下旬～11月上旬	秋のお彼岸の週間[総本山善通寺]
● 10月下旬～11月上旬	菊花展[総本山善通寺]
● 10月下旬～11月上旬	四国88ヶ所お砂踏み[総本山善通寺]
● 11月3日	中秋の名月の頃、鏡月の宴[善通寺市役所～市民集いの丘公園]
● 11月23日	四学祭[四国学院大学]
● 11月23日	善通寺農商工夢フエスタ[市民集いの丘公園]
● 11月23日	善通寺空海まつり[善通寺市総合会館・市民会館他]
● 11月23日	新舊祭・獻茶祭[善通寺市総合会館・市民会館他]
● 12月上旬～土曜日	五岳山縦走空海ウォーク[五岳山]



古墳の日

国宝

金銅錫杖頭



空海が惠果阿闍梨から授かり持ち帰ったとされる長さ55cmの錫杖(僧侶などが持つ杖の頭の部分)です。

一字一仮法華經序品

平安時代、法華経序品(前書きの部分)を1字ずつ空海が書き、その行間に母・玉依御前が菩薩を1体ずつ描いたとされています。



無形民俗文化財

木熊野神社特殊神事 (昭和37年県指定)

木熊野神社(中村町)の秋まつりには、古い信仰の名残りが残っています。頭屋の家に御神体が一泊するなど、珍しい神事が行われます。

シカシカ踊り (昭和48年県指定)

原田・木徳地区一帯の農村部に数百年前から伝わる盆踊りの一種です。シカシカの意味は、「然り然り」とも「しっかりしっかり」ともいわれています。

吉原念佛踊り (昭和57年市指定)

菅原道真が讃岐の国司を務めていた際、干ばつに見舞われ、雨を乞うたところ、満願の日に大雨が降ってきました。その徳をたたえたのが始まりとされます。

市の概要

面 積 39.93km²(平成27年3月1日現在)
人 口 32,859人(平成27年3月1日現在)
世 帯 13,076世帯(平成27年3月1日現在)

市の花 さくら



市の木 くすのき



空海まつり



円珍、乃木まつり